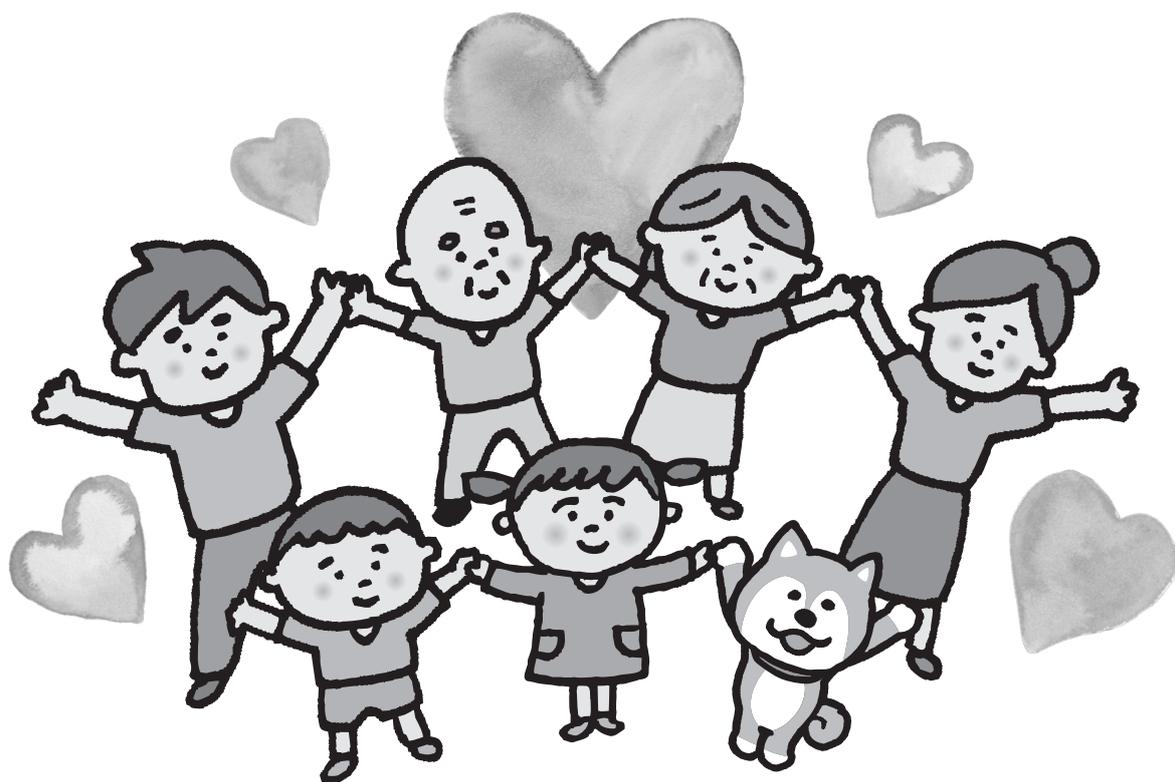


福祉ボランティア活動実践校事業及び  
地域ぐるみボランティア活動推進事業

平成28年度

# 活動集



ふれあいネットワーク



社会福祉  
法人

甲府市社会福祉協議会

甲府市ボランティアセンター

# は じ め に

少子高齢化が進展する中で、住民から自治体に対するニーズは、年々、多様化・個別化してきています。また、これらのニーズに対して「右肩上がり」の時代のように行政サービスにより、すべて対応していくことは難しい状況にあります。

このような中、住民との協働によるまちづくりを多くの自治体が主要施策として掲げるようになってきています。

地域社会においては、住民同士の人間関係の希薄化が進んでおり、自治会をはじめとする地域コミュニティも、組織や活動の維持ができず苦慮する事例も多く聞かれ、地域課題の解決に向けた取り組みも十分に行われていないことも少なくありません。

しかし、一方では東日本大震災以降、災害ボランティアをはじめ、市民による公益的な活動が目ざされ、身近な課題解決に向けた取り組みが盛んになってきています。こうした市民による助け合い・支え合いが必要不可欠であることは明らかではありますが、少子高齢化の進展に伴い地域社会においても、このような活動は今後、一層重要となってきています。

こうしたことから甲府市社会福祉協議会では、コミュニティの区域（小学校区域）を単位とする「地域コミュニティ」の形成を図るため、「地域ぐるみボランティア活動推進事業」に取り組むとともに、平成24年度からは市立の小・中・高等学校を対象に、学校、福祉関係者と行政が手を携えて、子供が豊かな人間性や社会性を育み、社会的自立と自己実現を図ることを目的として、「福祉ボランティア活動実践校事業」に取り組んできています。

この度、平成28年度の「地域ぐるみボランティア活動推進事業」及び「福祉ボランティア活動実践校事業」の取り組みを「活動集」として作成いたしましたので、今後の地域活動に取り組む際の一助としていただければ幸いです。

最後に、この活動の推進のために、ご協力いただきました関係各位に心から御礼申し上げますとともに、当協議会に対しまして、さらなるご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年5月

社会福祉法人甲府市社会福祉協議会

会 長 佐 藤 健



# 目 次

福祉ボランティア活動実践校事業実施要領	1～2
福祉ボランティア活動実践校一覧	3

## 【平成28年度福祉ボランティア活動実践校】

①甲府市立池田小学校	4
②甲府市立石田小学校	5
③甲府市立湯田小学校	6
④甲府市立伊勢小学校	7
⑤甲府市立国母小学校	8
⑥甲府市立東小学校	9
⑦甲府市立相川小学校	10
⑧甲府市立千塚小学校	11
⑨甲府市立里垣小学校	12
⑩甲府市立玉諸小学校	13
⑪甲府市立東中学校	14
⑫甲府市立南中学校	15

地域ぐるみボランティア活動推進事業実施要領	16～17
-----------------------	-------

## 【地域ぐるみボランティア活動推進事業】

里垣地区社会福祉協議会	18～20
-------------	-------

甲府市ボランティアセンターの紹介	21～22
------------------	-------

甲府市ボランティアセンター事業の紹介	23
--------------------	----

福祉講話講師の紹介	24
-----------	----

高齢者疑似体験セットの紹介	25
---------------	----



# 甲府市社会福祉協議会 福祉ボランティア活動実践校事業 実施要領



## 第1 目的

この要領は、児童・生徒の社会福祉への関心と理解を高め、ボランティア精神を養うため、家庭や地域に開かれた福祉教育と地域に根差したボランティア活動の実践を行う福祉ボランティア活動実践校事業の実施について、必要な事項を定める。

## 第2 実施主体

実施主体は、社会福祉法人甲府市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）とし、次のとおり活動を行う。

## 第3 事業

- (1) 「福祉ボランティア活動実践校」（以下「実践校」という。）相互の連絡調整や情報交換を図るための「連絡会議」の開催
- (2) 事業推進に必要な資料、情報の提供
- (3) 事業の取り組み内容の公開（ホームページ等）
- (4) その他事業の効果的な推進を図るために必要なこと

## 第4 実施の期間

事業の期間は、平成27年度から平成29年度までとする。

## 第5 実践校の指定

実践校の指定は、甲府市立の小・中学校並びに高等学校とし、事業期間中一度に限り指定を受けるものとする。

## 第6 助成金

- 1 実践校への助成金は、市社協の予算の範囲内で、1校につき4万円を限度とする。
- 2 指定校への助成は、別に定める事業計画による。

## 第7 助成金の申請

助成金を受けようとする実践校は、次の書類を市社協会長に提出する。

- (1) 福祉ボランティア活動実践校事業助成金申請書（第1号様式）
- (2) 福祉ボランティア活動実践校事業事業計画・予算書（第2号様式）

## 第8 実践校の活動

実践校は、目的達成のためにそれぞれの地域及び実践校の実情に合わせて、別紙「活動の例示」を参考にした活動を行う。

## 第9 実績の報告

実践校は、事業年度終了後20日以内に、次の書類を市社協会長に報告しなければならない。

- (1) 福祉ボランティア活動実践校事業実績報告書（第3号様式）
- (2) 福祉ボランティア活動実践校事業取り組み内容（第4号様式）
- (3) 福祉ボランティア活動実践校事業収支決算書（第5号様式）
- (4) 福祉ボランティア活動実践校事業に関わる領収書

## 附 則

この要領は、平成24年4月1日から施行する。

この要領は、平成26年4月1日から施行する。

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

## 別紙「活動の例示」

### ○広報・啓発活動

- ・講演会、上映会、展示会等の開催
- ・学校新聞等の作成、配付及びホームページへの掲載

### ○調査・研究活動

- ・ねたきり高齢者調査、まちづくり点検活動、自然環境調査、災害時等に関する地域環境調査

### ○体験学習等を目的とした実践活動

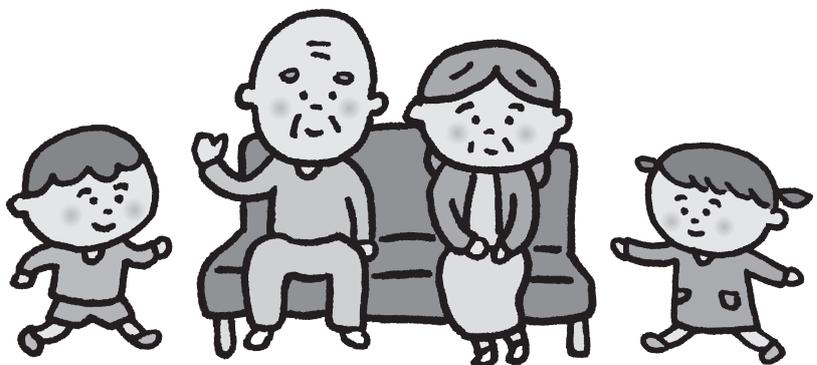
- ・小地域ネットワーク活動への協力
- ・福祉施設等への慰問・交流活動
- ・地区社会福祉協議会やボランティア団体等地域内の社会福祉関係機関・団体との交流活動
- ・体育祭、文化祭等学校行事への高齢者、障がい（児）者の招待
- ・地域と連携した奉仕活動
- ・国際及び環境問題への取り組み
- ・福祉講話の実施
- ・高齢者疑似体験セット、車椅子、白い杖等福祉体験用具の活用
- ・花、野菜の栽培及び食育の学び
- ・古切手及び牛乳パック、ペットボトルキャップ等の収集

### ○甲府市社会福祉協議会（甲府市ボランティアセンター）事業等への参加

- ・ふれあいチャレンジフェスタ、ボランティア交流会・ボランティア博、ボランティア養成講座、赤い羽根共同募金への協力等

### ○実践校等相互の交流

### ○その他、社会福祉に関する活動





# 福祉ボランティア活動実践校事業 指定校

## 【平成27年度～29年度実施】



No.	学 校 名	指 定 年 度		
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
1	善 誘 館 小 学 校	○		
2	山 城 小 学 校	○		
3	大 国 小 学 校	○		
4	千 代 田 小 学 校	○		
5	新 紺 屋 小 学 校	○		
6	大 里 小 学 校	○		
7	甲 運 小 学 校	○		
8	新 田 小 学 校	○		
9	北 東 中 学 校	○		
10	北 西 中 学 校	○		
11	城 南 中 学 校	○		
12	甲 府 商 業 高 校	○		
1	池 田 小 学 校		○	
2	石 田 小 学 校		○	
3	湯 田 小 学 校		○	
4	伊 勢 小 学 校		○	
5	国 母 小 学 校		○	
6	東 小 学 校		○	
7	相 川 小 学 校		○	
8	千 塚 小 学 校		○	
9	里 垣 小 学 校		○	
10	玉 諸 小 学 校		○	
11	東 中 学 校		○	
12	南 中 学 校		○	
1	貢 川 小 学 校			○
2	中 道 南 小 学 校			○
3	中 道 北 小 学 校			○
4	北 新 小 学 校			○
5	羽 黒 小 学 校			○
6	舞 鶴 小 学 校			○
7	朝 日 小 学 校			○
8	西 中 学 校			○
9	富 竹 中 学 校			○
10	南 西 中 学 校			○
11	笛 南 中 学 校			○
12	上 条 中 学 校			○
13	北 中 学 校			○
	合 計	12	12	13

# 1 甲府市立池田小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名
通年	甲府支援学校との同学年交流及び共同学習、盲学校教科交流及び共同学習
通年	美化委員会と地域の方による花いっぱい運動
9.25	盲学校児童、本校秋季大運動会参加
11.2	盲学校見学・点字・共用品の学習及び白杖体験（4年生）
11.19	土曜参観にて福祉講話（4年生と保護者）
12.16	地域の高齢者の方々と昔の遊び大会（1年生）
H29・1.20	地域の食生活改善推進委員会の方々とほうとう作り（6年生）

## 2 取り組み事例

### （1）昔の遊び大会

地域の老人クラブの方々33名に来ていただき、1年生が昔の遊びのめんこ・こま・あやとり・かるた・けん玉・福笑い・お手玉等遊び方を教えていただき、児童は遊び方が分かるの上達も早く、楽しんでいました。教えていただく中で高齢者の方々とふれあえる有意義な時間が持てました。

### （2）福祉講話

4年生の総合学習で、さまざまな不自由さをもつ人や福祉のことについて学習しました。土曜参観では保護者と児童で地域在住の肢体不自由の方より、子どもの頃からこれまでの人生のこと、不自由さを持つ人と家族の思い、子ども達への願いについて講話していただきました。児童と保護者がそれぞれの目線で思いをもちながら講話を聴き、学習を深めることができました。

### （3）美化委員会

地域の社会福祉協議会の方3名に教えて頂きながら美化委員会児童が中心となり、夏と秋の2回プランターにビオラや松葉ボタンを植え校内に花いっぱい運動の推進をして全校で花を見て楽しむことができました。また、美化委員会児童は花がきれいに咲くように、水やりや追肥をしてくれました。

### （4）ほうとう作り

地域の食生活改善推進委員会の方々28名に講師として来ていただき、6年生と山梨県の食材を用いての郷土料理「ほうとう」を調理する活動を通して、郷土に愛着を持ち大切にする態度を育てるとともに、地域の方々との交流を深めることができました。



## 3 1年間の評価と課題

池田小では福祉教育で「交流及び共同学習やボランティア活動を通して、心身に障がいを持った人や高齢者などに対して思いやりのある子どもを育てる」ことを目標としていろんな活動を計画し取り組んできました。特に20年以上続いている甲府支援学校や盲学校及び本校特別支援学級との交流及び共同学習では、障がいをもった友達を知り自然なふれあいができるようになってきていると感じます。また、上記のような福祉活動を計画的に積み重ねることで地域の幼児や高齢者の方々とふれあう機会を多く持つことが児童の福祉の心を育てるにあたって大切であるため、今後も計画的に教育課程に入れながら福祉教育の積み重ねをしていきたいと思います。

## 2 甲府市立石田小学校

### 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	あいさつ運動 給食の牛乳パックリサイクル ボランティアの方による朝の読み聞かせ ペットボトルキャップ収集 古切手・使用済みテレホンカード・書き損じ葉書収集 花壇の花植え替え	11.23	愛町奉仕作業（地域の方々と一緒に）
7.19	愛町奉仕作業	11.24	4年生福祉講話
8.20	P T A 奉仕作業	12月	赤い羽根共同募金
11.4	3年生福祉講話	12月	歳末たすけあい運動
11.9	4年生福祉講話	12.22	愛町奉仕作業
		H29.2.1	4年生命の学習
		2.7	1年生昔の遊び集会 (地域の高齢者と一緒に)
		2.16	2年生命の学習（授業参観）
		3.3	6年生愛校奉仕作業

### 2 取り組み事例

#### (1) 福祉講話（3年生・4年生）

3年生は総合「耳の不自由な人と交流しよう」の学習で、講師をお招きし、福祉講話を開きました。手話通訳の方と一緒に来校していただき、話を聴くことで、生活の大変さを感じたり、耳からの情報の大切さを知ったりすることができました。

4年生は総合「目の不自由な人の生活を知ろう」で、講師をお招きし、福祉講話を開きました。話の中で「一番うれしいのは、『大丈夫ですか』と声をかけていただくことです。」という話があり、児童も「いろいろな人と助け合っていくたいです。」という気持ちをもつことができました。

#### (2) 命の学習（2年生・4年生）

2年生は生活科「ぼくわたしのものがたり」の学習で、助産師の方々に来ていただき、命の学習を行いました。当日は授業参観として、保護者と一緒に話を聴き、命の大切さを学ぶことができました。

4年生は、総合「成長をふり返り前へ進もう」の学習で、保健師の方々による命の学習を行いました。お腹の中での成長の様子をわかりやすく説明していただきました。赤ちゃんのだっこ体験を通じて、家族への感謝の気持ちを深めることができました。



### 3 1年間の評価と課題

年間を通して児童会活動を行い、お互いの価値を認め合う活動ができました。また、福祉講話や命の学習を通して、障がいをもつ方々への思いやりの心や家族への感謝の気持ちをもつことができました。教科・総合的な学習の時間及び道徳とも関連させながら、これからも継続して取り組み、豊かな心を育てていきたいと思ひます。

# 3 甲府市立湯田小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	あいさつ運動 (0・8・4のつく日に呼びかけ) ゴミゼロ運動(月・木曜日) ペットボトルキャップ、牛乳パック、 古切手収集 6年生による地域の清掃活動等	10.25	1年生福祉講話
		11.5	4年生・5年生福祉講話
		11.23	地域の清掃活動
		H29.2.9	2年生・3年生福祉講話
		2.6~2.10	ボランティア週間 (車いす・高齢者・白杖体験)

## 2 取り組み事例

通年のあいさつ運動では、084のつく日に児童会役員・学級役員を中心に登校時のあいさつを呼びかけています。あいさつができれば、ハイタッチをして校舎内に入る児童が多くみられました。月・木曜日には、校庭に落ちているゴミを拾いながら登校し、児童玄関前のゴミ箱に捨てるようにしています。今年度は、福祉の予算から新しいゴミ箱を購入しました。6年生は、月・火曜日の放課後に総合市民会館・遊亀公園・南甲府駅の清掃または放課後児童クラブの児童とふれあうボランティアに取り組んでいます。

福祉講話として、1年生は視覚障がいの方、2・3年生は聴覚障がいの方、4年生は視覚障がいの方、5年生は肢体不自由の方を招き、お話をいただきました。聴覚障がいの方とハートフルハンドの集いとして、3年生が集会を行い、2年生を招待する形で行いました。4・5年生は土曜参観に行い、保護者の方も一緒に講話を聴くことができました。



## 3 1年間の評価と課題

通年の活動は、児童会・学年の取り組みとして定着しているため、児童も意欲的に取り組むことができます。特にゴミ拾いでは11月に落ち葉はきを行います。みんなで協力して行う姿は立派です。福祉講話も、毎年講師の方の貴重なお話を聞くことができ、素晴らしい経験をしています。障がい者の生活の工夫ばかりでなく、生き様を語っていただくことで、話を聴き児童だけでなく保護者の涙する姿も見られました。

課題としては、貴重なお話を準備していただいた、忙しい中時間をつくっていただいたりするので、しっかりと謝礼を用意しなければ申し訳なく感じます。また、市に福祉通訳をお願いすると、謝礼を用意しなければならず、そのため、福祉講話を継続するための予算の捻出が難しいです。福祉講話の内容をいかに児童の心に浸透させていくか、教師の工夫も考えていかなければなりません。

# 4 甲府市立伊勢小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	あいさつ運動 ペットボトルキャップ収集 給食牛乳パックのリサイクル ボランティアによる朝の読み聞かせ	11.16	甲府南ライフケアセンター施設訪問 (4年生) 総合的な学習の時間を利用し、計画・準備をして交流活動を実施
7.14	甲府南ライフケアセンター施設訪問 (児童会) プランターに植えた花とタオルのプレゼント	12.6	6年生の児童会役員による南甲府駅周辺の清掃活動 (南中・湯田小と合同で実施)
11.7	福祉講話① (3年生)	12.8	福祉講話③ (5年生)
11.8	福祉講話② (4年生)	H29.1.25	昔の遊び集会 (1年生) 地域に住むお年寄りを招きグループごとに交流

## 2 取り組み事例

### (1) 福祉講話

3年生では聴覚に障がいをもつ方、4年生では視覚に障がいもち盲導犬と生活している方、5年生では車いすで生活している方を講師としてお迎えしました。

それぞれみなさんの日常生活の様子や苦労していること、工夫していることなどをお話いただきました。どの学年の児童も興味をもってお話を聞き、講演後にはたくさんの質問をしてより学習を深めることができました。



### (2) 施設訪問

本校では、地域にある「甲府南ライフケアセンター」という施設への訪問を実施しています。今年も、7月には児童会役員が代表として、全校児童に呼びかけて集めたタオルとプランターに植えた花のプレゼントを持って訪問しました。

また、11月には4年生が「総合的な学習の時間」を利用して施設を訪問しました。短い時間でしたが、高齢者のみなさんに歌やリコーダーの演奏を聴いてもらったり一緒に折り紙を折ったりして楽しいひとときを過ごしました。



## 3 1年間の評価と課題

今年度も児童会を中心に、さまざまなボランティア活動を計画し実施することができました。また、予算などの関係から実施の難しかった「聴覚に障がいをもつ方」を招いての福祉講話も実施することができました。苦しみを乗り越える強さや前向きに生きるたくましさを目の当たりにして、生きる力や勇気を得ることのできるこのような機会を今後も継続して実施できるようになってほしいと思います。

# 5 甲府市立国母小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	ゴミゼロ運動・愛校奉仕作業 あいさつ運動 ペットボトルキャップ収集 牛乳パックリサイクル収集 ボランティアの方による読み聞かせの活動 青少年加盟登録式		福祉講話（3年生） 福祉講話（4年生） 荒川河川敷清掃 赤い羽根共同募金 書き損じ葉書、古切手、飢餓救援米収集 高齢者との交流（昔の遊びを教わろう）

## 2 取り組み事例

### ① 福祉講話について

10月には3年生が視覚障がい者の方から、11月には4年生が聴覚障がい者の方からお話をうかがいました。生活の工夫や、手話・点字についてくわしく教えていただきました。お話から自分たちの毎日からは想像ができない生活の様子を知り、これから自分たちにできることを考える良い機会となりました。

今回のお話を聞いてあらためて感じたことは、目の不自由な方に話しかけたり、荷物を持つのを手伝ったり、道案内など、わたしたちもされてうれしいことをやってあげて、少しでも喜んでもらえたらと思いました。目の不自由な方に話しかけることは少しきんちょうするかもしれないけど、わたしはみんなに喜んでもらえるようにがんばりたいです。ふくしこうわをきいてわたしは少しかもしれないけど、福祉について知れたかなと思いました。

～児童のお礼のお手紙より～



### ② 荒川河川敷清掃

毎年、地域・子ども・保護者・教員が一体となって荒川の河川敷のゴミ拾いを行っています。千秋橋から新平和橋のチーム、身延線鉄橋下から新平和橋のチームに分かれて、ゴミ袋を片手に空き缶やたばこの吸い殻など集めました。自分たちが住む街を自分たちの手できれいにするというのを児童は身をもって体験し学ぶことができました。

## 3 1年間の評価と課題

今年度も、年間を通して福祉教育活動を計画的に行うことができました。通年を通して行っている児童会活動や環境教育活動の中で、ボランティア活動に積極的に参加しようとする気持ちが浸透してきました。また、各学年の発達段階に応じた講師の方にお話を伺うことできたことは、児童にとって、とても有意義なものとなりました。障がいを持った方や高齢者との交流を通して、自分たちにできることを考えたり、誰に対しても思いやりの気持ちを持って接することの大切さをあらためて学んだりすることができました。来年度も、これらの活動を継続し、児童の心が豊かに育まれるよう福祉教育を充実させていきたいと思えます。



# 6 甲府市立東小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	あいさつ運動	4月	熊本地震への募金
	エコボラ活動	9月	高齢者の方へのお手紙 高学年
	給食の牛乳パック収集活動	10月	「地域のお年寄りとふれあおう」 3年生
	家庭からの牛乳パック収集活動		落ち葉ひろい当番 各学年
	ペットボトルキャップ収集活動	11月	福祉講話 4年生
			赤い羽根共同募金運動
		1月	書き損じ葉書・古切手収集活動

## 2 取り組み事例

本校では、福祉教育の目標として「一人一人が互いの価値を認め合い、思いやりの心で助け合いながら、協力し合っていく精神や態度の育成を図る」を掲げ、各教科や道徳、特別活動、総合的な学習の時間を通して福祉教育に取り組んできました。

### (1) エコボラ活動

児童会を中心に環境（エコ）やボランティアについて年間を通して活動してきました。今年度は、4月に起こった熊本地震を受けて、募金活動を行い、多くの募金が集まりました。また、家庭の協力を得てボランティア委員会による牛乳パック・ペットボトルキャップの収集活動を全校で行っています。



### (2) 福祉講話

今年度は、4年生が総合的な学習の時間に耳の不自由な方のお話をお聴きしました。手話でお話してくださるので、手話通訳士の方が通訳してくださいました。児童は事前に体の不自由な方のことについて学習し、さらに耳の不自由な方がいろいろな工夫をして日常生活を過ごしている様子をお聴きし、交流する中で、障がいのある方への理解が深まり、自分にできることはないだろうかと考えることができました。



## 3 1年間の評価と課題

毎年継続的に行っている児童会の縦割り班を中心としたあいさつ運動、ボランティア委員会による牛乳パック・ペットボトルキャップ収集活動は、家庭の協力も得て日常活動となり、児童の間に定着しています。さらに児童が積極的に活動に参加する意識がもてるように、今年度ペットボトルキャップ回収ボックスを設置しました。今後も工夫をして取り組んでいきたいと思ひます。

福祉講話では、実際に講話を聴くことにより、耳が不自由であっても工夫をして明るく前向きに生活していることが児童によく伝わっていました。事後の学習では、自分にできることはないだろうかとさらに考えていくことができたので、それらを実際の場面で生かすことができるよう指導を続けていきたいと思ひます。

# 7 甲府市立相川小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	古切手収集 牛乳パック回収 書き損じ葉書収集(主に1月) 奉仕タイム(5、12、3月) 白鳥の世話(5年生) ペットボトルキャップ収集 お年寄りへの絵手紙	6.3	親子クリーンアクション
		9月	福祉の心を育てる
		11月	高齢者と児童の手紙交換事業
		11.21	歳末助け合い運動 (募金、タオル、石けん収集など)
		11.23	相川ケアセンター訪問 甲府市青少年美化活動

## 2 取り組み事例

### 〔花の栽培〕

「校内を花でいっぱい」の合言葉のもと、飼育栽培委員、福祉委員が協力して活動を行いました。飼育栽培委員が種まきや栽培のリーダーシップをとり、福祉委員もフラワーポットの飾りを作りました。このようにして、育てた花は老人福祉施設を訪問した際に、持っていき、高齢者の方々にプレゼントしました。大変喜んでいただけ、訪問した児童にとっても、心ふれあう貴重な時間になりました。

### 〔老人福祉施設訪問〕

福祉委員会と児童会、合唱部のメンバーで、相川ケアセンターを訪問しました。歳末助け合い運動で集めた品々をお渡ししたり、「ふるさと」を一緒に歌ったりして楽しく交流する時間をもつことができました。また、絵やお花をプレゼントし、高齢者の方々と、お話をし、和やかな雰囲気の中でふれあいの時間をもつことができました。大変喜んでいただき、児童の心にも温かい気持ちが残ったようでした。素直な心で直接ふれあうことを通し、思いやりの気持ちをもつことができた有意義な訪問でした。



## 3 1年間の評価と課題

本校では児童会や福祉委員会を中心とした取り組みにより、福祉活動が定着してきています。今年度は全学年の児童が、高齢者への絵手紙制作を行い、地域内にある老人福祉施設にお届けすることができました。施設で生活している高齢者の方々が、絵手紙を見てくださることにより、少しでも明るく、温かな気持ちになってくださるとうれしく思います。また、歳末助け合い運動では、困っている方々や、助けを必要としている方々の気持ちを考えたり、今、自分たちにできることは何かを考えたりしながら、募金・収集活動をすることができ、多くの児童や保護者から温かい心の伝わる品々を寄せていただきました。

これからは、これらの活動を基礎に、考えたことが自然に実践できる心を育てていきたいです。また、福祉委員会の活動を新聞やポスター等で知らせることにより、全校に「福祉の心」をさらに広げていきたいです。



# 8 甲府市立千塚小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	あいさつ運動 愛校・愛町作業 給食の牛乳パックリサイクル 古切手、テレホンカード、書き損じ葉書、 エコキャップの収集(児童会)	5月	熊本地震の義援金(児童会)
		10.12	老人施設訪問(5年生)
		11.8	福祉講話(4年生)
		11.18	老人施設訪問(3年生)
		11月	赤い羽根共同募金よびかけ(児童会)

## 2 取り組み事例

### ◎児童会活動

年間を通して、児童会を中心に「あいさつ運動」や「募金活動」、「エコキャップ収集」など行ってきました。特にあいさつ運動は4月～3月まで一年を通じて力を入れて取り組んできました。毎朝登校してくる全校児童にむかって、目をみて大きな声であいさつをすることで、少しずつあいさつができるようになってきました。募金活動では、あいさつ運動の横で募金箱を持ち活動しました。その成果があり多くの児童が協力して募金していました。



### ◎福祉講話

今年度は、4年生が福祉講話を行うことができました。なかなかふれあう機会の少ない障がいをもった方のお話はとても興味深く聴くことができました。また事前に購入したアイマスクと白杖を体験しているので話を聴くことでより詳しく知ることができました。これからの生活の中で視覚障がいの方を見かけたらどうしたらよいか考えるよい機会となりました。



## 3 1年間の評価と課題

福祉講話については、実際に話を聴くことで身近に感じることができました。このような活動を継続的に行っていけるとよいと感じました。児童会活動含めて継続した取り組みをして、さらに思いやりの心を養っていきたいです。

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	かえで支援学校との交流（各学年ごと）	10.29	4年生福祉講話「ともに助け合って生きる」
通年	ペットボトルキャップ収集	10.29	P T A 講演会「マリナーズと歌おう」
通年	あいさつ運動 朝清掃	12月	歳末助け合い募金
学期末	愛町・愛校奉仕作業		

## 2 取り組み事例

## (1) かえで支援学校との交流

本校では、各学年ごとにかえで支援学校との交流会を年2回行っています。内容は、それぞれの発達段階に合わせた歌やゲーム、発表会やミニ運動会などです。入学時より継続して実施しているため、お互いの名前や特徴を覚えたり、成長を実感し合ったりしながら交流しています。

## (2) 福祉講話

毎年行っているP T A教育講演会ですが、今年度はテーマを福祉としました。障がいをもちながら自らの才能をいかしてコンサート活動を行っている麻里奈さん、お母さん、妹さんをお迎えしました。その美しくて力強い演奏や講演を聴き、親子で感動を味わうよい機会となったようです。聴くだけでなく一緒に歌うなどの活動もあり、障がいについての理解が深まりました。



## 3 1年間の評価と課題

児童会の通年の活動や、かえで支援学校との交流は、これまでの積み重ねがあり、継続することで豊かな心を育てる一助となっています。今年度は福祉講話という形で学校での体験を家庭でも話題にもらえるような取り組みを行い、親子で福祉について考えることができました。



# 10 甲府市立玉諸小学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	あいさつ運動（児童会） ペットボトルキャップ・古切手・使用済み テレフォンカード収集	7.27	トリアス（老人福祉施設）訪問
毎学期末	愛町奉仕作業（ゴミ拾い）	11.8	ボランティア委員会トリアス訪問
7.25	へいりん荘（老人福祉施設）訪問	11.15	福祉講話
		12月	赤い羽根共同募金

## 2 取り組み事例

本校では、地域にある2つの老人施設と継続的に交流を行っています。夏休みには希望者を募り、高齢者の方々との触れ合いとして、一緒にうちわ作りを行いました。また、秋にはボランティア委員会の児童が訪問し、リコーダー演奏の発表やクリスマスカードのプレゼントを行いました。

今年度の福祉講話では、障がいを持ちながらも、自分の興味や才能を生かし、コンサート活動を行っている白井麻里奈さんとお母さんをお招きしました。麻里奈さんの力強い歌声や演奏に児童は聴き入っていました。一緒に歌を歌う場面では、麻里奈さんと全校が一つになって音楽を楽しみました。お母さんからも大切な話を聴かせていただき、有意義なかけがえのない時間を過ごすことができました。



## 3 1年間の評価と課題

今年度も継続して様々な活動に取り組むことができました。大規模校であるため、一部の児童しか参加できないのが残念ですが、地域にあるトリアスやへいりん荘との交流では高齢者の方々と充実した時間を過ごすことができました。

また、福祉講話では、白井麻里奈さんとお母様に素晴らしい演奏やお話しをしていただき、一人一人が福祉講話から様々なことを感じることはできたのではないかと思います。

これからも継続して、児童の思いやりの心を育てていきたいと考えます。



# 11

# 甲府市立東中学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
6.20	福祉体験（白杖，高齢者体験）	11.26	かえで祭への参加（1年生）
6.21	福祉体験（白杖，高齢者体験）	12.14	第2回かえで支援学校交流会（1年生）
7.8	第1回かえで支援学校交流会（1年生）	12.17	酒折クリーンアップ作戦参加
9.12	かえで生徒東輝祭参加（2年生）		

## 2 取り組み事例

かえで支援学校との交流会（年2回）1年生同士の交流会で、1回目はかえで支援学校にて、ダンスや合唱を行いました。2回目の交流会では、簡単なゲーム（人間アーチくぐり、じゃんけん列車）や時季に合わせて、クリスマスカードの交換を行いました。

酒折クリーンアップ作戦では、全校から希望者を募り参加しました。普段お世話になっている地域の方々と一緒に、毎日生活している学区の清掃を行い、積極的に時間を忘れるほど歩き回り活動することが出来ました。また、地域の方々への挨拶等も積極的に行うことが出来ました。

## 3 1年間の評価と課題

1年間を通して、目的意識を持って一つ一つの活動に取り組み有意義な活動にすることができました。また、日常生活の中では見逃してしまう小さな事や大切な事に気付いたり、相手の立場を考え行動をすることの必要性を学ぶとても良い機会となりました。

課題としては、それぞれの生徒の発達の段階や理解度、障害の状態に応じた活動の工夫が必要であること、交流環境や体験のための用具、時間の不足が大きな課題です。





# 12 甲府市立南中学校

## 1 主要行事

年月日	行事名	年月日	行事名
通年	あさがお運動	4月	熊本地震募金活動
通年	ペットボトルキャップ・古切手・書き損じ葉書回収	9.21	南甲府駅・湯田交番のプランターへの花植え
通年	花壇・プランター花の植え替え・水やり	12.6	クリーンアップ大作戦
通年	ミニクリーン活動	12月	赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金活動

## 2 取り組み事例

### (1) 南甲府駅・湯田交番での花植え

年間を通して、小学校と連携したあさがお運動（あいさつ運動）や委員会が主導するペットボトルキャップ・古切手・書き損じ葉書回収や花の植え替えなどが定着しています。また、南甲府駅や湯田交番への花の植え付けやその後の水やりは生徒だけでなく、地域の方の協力もあり交流の場となっています。

### (2) クリーンアップ大作戦

学校周辺の道路や南甲府駅の地下通路の清掃があります。毎月実施しているミニクリーン活動で培った技術と心を、地域美化活動に生かしています。全学年でグループを構成し、この清掃に取り組んでいます。上級生から下級生に受け継がれ、本校の伝統になっています。



南甲府駅前での花の移植作業

## 3 1年間の評価と課題

毎年行っている活動が、縦割りのグループによって計画されることで、学年を越えた生徒同士のつながりを深め、本校の伝統として根付いています。また、地域の方々も作業をしていると声をかけてくれ、日頃の関わりを感じさせてくれました。このつながりがボランティア活動には不可欠と感じられます。



南甲府駅の地下通路の清掃



# 甲府市社会福祉協議会 地域ぐるみボランティア活動推進事業 実施要領



## 第1 目的

少子・高齢化の進展や核家族化問題により、大人も子供もライフスタイルが多様化し、地域社会のつながりが希薄になっていると言われております。

これまで甲府市社会福祉協議会では、命の大切さや地域で共に安心して暮らし続けられる地域社会の再構築や、子供たちを始めとする地域における「福祉のこころ」を醸成するため、学校や地区社会福祉協議会を始めとする関係団体が連携して進める福祉教育の推進やまちづくりを支援することを目的として、山梨県社会福祉協議会指定による「福祉のこころ醸成事業」そして、本協議会独自による醸成事業を単年度で行ってきました。

今までの成果を踏まえ、継続的に福祉教育を推進する事業を地区社会福祉協議会と学校、その他関係団体・機関等が連携して行えるよう支援することを目的として、この要領を定める。

## 第2 実施主体

社会福祉法人 甲府市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）とする。

## 第3 推進主体

市社協が指定した地区社会福祉協議会（以下「地区社協」という。）とする。

## 第4 事業内容

(1) 指定期間 4月1日から翌年の3月31日まで

(2) 指定地区社協数 1年度につき1地区社協

(3) 実施内容

### ①福祉教育推進委員会の設置

指定された地区社協は、活動の母体となる福祉教育推進委員会を設置し、実施内容を検討・選択、活動の企画、準備、運営、今後の展開についての検討を行う。

○委員構成案 ア 学校 イ 教育委員会 ウ P T A エ 民生委員・児童委員  
オ 自治会 カ ボランティア団体 キ 企業 ク 学識経験者  
ケ 行政 コ 地区社協 サ 市社協

### ②学校との連携による「命の授業」の実施

### ③地域における福祉教育の取り組み

福祉教育推進委員会が中心となり、学校や地域の関係者と連携して地域における福祉教育の取り組みを図る。

## 第5 助成の申請

地区社協は、第1号様式及び第2号様式を市社協に提出しなければならない。

## 第6 助成金の交付

市社協が指定した地区社協へ助成金を交付する。

## 第7 助成金の経理等

助成金の交付を受けた地区社協は、助成金の経理等を次により処理しなければならない。

- (1) 助成金は、その用途を踏まえて活用すること。
- (2) 助成金は、地区社協予算に計上し収支費目を明確にして会計処理すること。
- (3) 助成金の収支に係る証憑書類（振込通知書、領収書等）を整備しておくこと。

## 第8 助成金額

該当年度の予算の範囲内とする。

## 第9 実績の報告

事業年度終了後20日以内に第3号様式及び第4号様式を市社協に提出する。

## 附 則

この要領は、平成24年4月10日から施行する。



# 平成28年度「地域ぐるみボランティア活動推進事業」

## 実績報告書



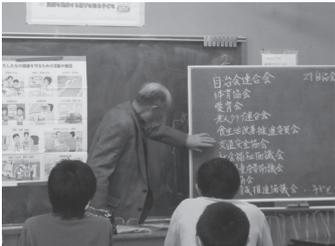
### 里垣地区社会福祉協議会

#### 1 福祉教育推進委員会

委員構成	17人	(1) 里垣小学校校長・教頭・教諭 (2) 里垣地区社会福祉協議会会長・福祉推進員・会計 (3) 里垣地区自治会連合会会長 (4) 里垣地区青少年育成推進協議会会長 (5) 里垣地区文化協会会長 (6) 里垣地区愛育会会長 (7) 里垣地区老人クラブ連合会会長 (8) 里垣地区体育協会会長 (9) 里垣地区食生活改善推進委員会会長 (10) 交通安全協会里垣支部会長 (11) 里垣地区民生委員児童委員協議会会長 (12) 甲府市社会福祉協議会地域福祉推進課ブロック担当 甲府市社会福祉協議会甲府市ボランティアセンター所長
開催期日	内 容	
6.16	(1) 年間行事計画の検討及び決定 (2) 年間活動予算の検討及び決定	
11.18	(1) 上期事業実績の報告 (2) 上期事業実績の評価 (3) 下期事業の見直し	
H29.3.16	(1) 事業報告書の承認 (2) 収支決算書の承認	

#### 2 地域ぐるみボランティア活動推進事業 実施内容「生命の授業」

期 日	会 場	内 容
7.8	里垣小学校	<b>道徳 交通安全協会里垣支部</b> 「たいせつないのち～あんぜんなとうげこう～」 交通安全を通して、命を大切に思う心や安全な登下校に心掛ける気持ちを育てた。(1年生)
10.29	里垣小学校	<b>道徳授業 「命を大切に」</b> 自分の成長を振り返って命の尊さを感じ取り、命を大切にする心情を養った。(3年生)
10.29	里垣小学校	<b>道徳授業 「共に助け合って生きる」</b> 障がいを持つ人の苦労や生活の様子を聞き、障害者への理解を深めた。(4年生)

H29.2.9	里垣小学校	<p><b>学活 「おへそのひみつ」 甲府市健康衛生課</b></p> <p>命の尊さを感じ取り、自他の命を大切にすることの大切さを学んだ。(2年生)</p> 
2.14	里垣小学校	<p><b>生命の授業 「輝いて生きる」 青少年育成協議会長</b></p> <p>お年寄りが人生経験を通して得たことを基に、今の小学生に望むことを語った。(6年生)</p>  
2.20	里垣小学校	<p><b>道徳授業 「生命尊重」 甲府市健康衛生課</b></p> <p>両親の愛を受けて生まれたことや大切に育てられたことを伝え、命の尊重を求めた。(5年生)</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだことよりも詳しく教えてもらえて良かった。</li> <li>・今日のことを家に帰ったら家族で話してみたい。</li> <li>・自分の命も大切だけど、周りの人の命も大切なんだと思った。</li> </ul>

### 3 関係者が連携しての事業

期 日	会 場	内 容
6.22	地域の施設	<p><b>町探検</b></p> <p>児童が興味を引かれた施設を探検することを通して、仲間との協力を学んだ。(2年生)</p>
8.26	登校班集合所	<p><b>第1回愛町奉仕作業</b></p> <p>地域の人たちと一緒に登校班集合場所の清掃を行い、地域の絆を深めた。(児童会)</p>  

10.27	里垣小学校	<p><b>自然災害とともに生きる 里垣地区民生委員児童委員協議会</b></p> <p>地域で起こった災害を伝え、いざという時の対応を考えた。(5・6年生)</p>
11.15	地域の施設	<p><b>町探検</b></p> <p>児童が興味を引かれた施設を探検することを通して、仲間との協力を学んだ。(2年生)</p>
H29.1.20	登校班集合所	<p><b>第2回愛町奉仕作業</b></p> <p>地域の人たちと一緒に登校班集合場所の清掃を行い、地域の絆を深めた。(児童会)</p>
		
		<p>善光寺駅登校班                      大円川登校班</p>
2.3	里垣小学校	<p><b>社会科授業 「受け継がれる行事」老人クラブ連合会会長</b></p> <p>地域のお祭りの様子やその由来を伝え、伝統行事と遺産保護への心を醸成した。(3年生)</p>

#### 4 1年間を振り返ってみて（成果及び課題等）

この事業を通して、児童に命の大切さや地域で共に安心して暮らし続けられる地域社会の再構築や、児童を始めとする地域における『福祉のこころ』の醸成に寄与できたものと思っています。

事業の実施にあっては、学校と自治会連合会を始めとした地区の各種団体10団体が協力して、学校が日常的に行っている授業や行事の中で実施しました。

事業の内容は、地域の人々が支援することで教育の効果が一層高まると思われる授業や行事をいくつか選び、話す内容やお手伝いできる範囲などを入念に検討して決めました。

事業を進めた1年間の振り返ると、学校と各種団体との連携・調整を図ることに苦労があったものの、児童はもとより先生方からも「地域と結びつきができて良かった。」と評価をいただきました。さらに地区の各種団体からは「学校を軸にした地域の結びつきが強固になった。」との声をいただくことができました。



# 甲府市ボランティアセンターの紹介



## 甲府市ボランティアセンターとは

甲府市ボランティアセンターは、「ともに生き、ともに支えあうまちづくり」を目指し、広く市民にボランティア活動の実際を周知するとともに活動の拠点として、ボランティア活動に関する広報・啓発と情報の収集・提供などの推進事業を掲げ、基盤整備の充実を目指して、ボランティア活動への参加のきっかけづくり、また参加者の技術や知識・得意分野などを地域で生かせる仕組みづくりのお手伝いをしています。

## 運営の仕組み

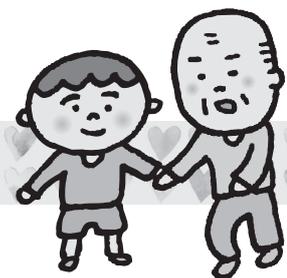
甲府市ボランティアセンターは平成6年4月1日に甲府市により設置され、甲府市社会福祉協議会によって運営されています。

## ボランティアについての相談・登録・紹介

「ボランティア活動をしたい人」、「ボランティアの協力を必要としている人」といった方々やグループ等からの相談を受け、コーディネートします。

## 活動の基盤づくりの援助

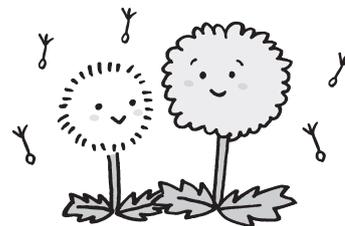
- ・ ボランティア・NPO団体への支援
- ・ 高齢者疑似体験学習の指導と機材の貸し出し
- ・ ボランティア活動機材の貸し出し（車いす・白い杖・アイマスク・紙芝居・積木セットなど）
- ・ 小・中・高校の福祉教育学習への協力
- ・ ボランティアグループの会議や活動の場としてボランティアビューローの開放
- ・ ボランティア活動中の万一の事故に備えて保険への加入窓口



## ボランティア活動の情報収集や情報の提供

- ・ボランティア情報紙「甲府市ボランティアだより」の発行
- ・ボランティアボード及び新聞等でのボランティア情報の提供
- ・「ホームページ」や「まごころ（こうふ社協だより）」での情報の提供
- ・「甲府市ホームページ」や「広報こうふ」でのボランティア情報の提供

ホームページアドレス：<http://www.kofu-syakyo.or.jp/>  
甲府市社会福祉協議会のホームページよりアクセス願います。

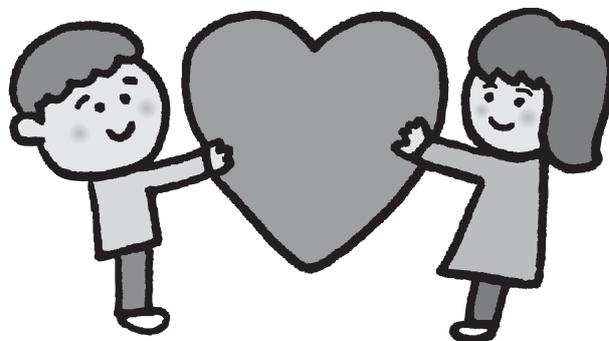


## 育成・研修ボランティア講座の開催

- ・福祉への理解、知識を深めるための各種ボランティア講座の開設  
(講座を修了された方々がグループを作る際のお手伝いもします)

## 古切手・牛乳パック・ペットボトルキャップ 不要入れ歯等の収集の窓口

取りまとめてそれぞれの引き取り手にお渡しします。





# 甲府市ボランティアセンター事業の紹介



お問い合わせは甲府市ボランティアセンターまでお願いします。

TEL 055-223-1061

FAX 055-231-6061



## 福祉講話講師の紹介



次の方を講師として紹介しています。

- ◇肢体不自由者（車いす使用）……歩行が困難な方の車いすでの生活実態
- ◇視覚障がい者（盲導犬同伴）……目が不自由な方の生活実態と盲導犬の役割
- ◇聴覚障がい者（手話）……耳が不自由な方の生活実態と、  
手話を用いてのコミュニケーション方法
- ◇環境教育支援団体……環境について考える
- ◇災害・防災ボランティア団体……被災地での支援、現状、災害防災についての日頃の備えなどを学ぶ
- ◇ボランティア活動実践者……様々な年代の方がボランティア活動を行っています  
活動をふまえた講話や実践指導

講師の紹介については、甲府市ボランティアセンターへご連絡ください。

TEL 055-223-1061

FAX 055-231-6061



# 高齢者の体と心を体験してみよう!!

## (高齢者疑似体験セット)

### 目 的

#### 1. 高齢者の心を思いやる

グッズを付ける事によって、手足が上げにくかったり、屈伸ができなくなったりします。また、耳が遠くなり、目も白内障のためかすみ、見えにくくなります。そうした身体機能の低下を体感する事を通して、高齢者の心理状態を忖度し、高齢者を理解するための「福祉のこころ」の醸成を図ります。

#### 2. 介助者の役割を理解する

疑似体験セットを装着して体験してみると、介助される側、介助する側にも個人差があることに気が付きます。このため、介助者は基本的には自立支援を目的とするので、体験者に必要以上に手を出さないことが大切であり、観察者は「体験者の様子はどうか」「介助の仕方は適切か」などをしっかりと観察し、体験後に助言すると共に体験時間の調整を図る必要があります。このように、疑似体験では、高齢者や介助者の役割を通して、介助者がどのようにサポートするのが適切なかの、自分なりのノウハウを見つけるきっかけとします。

#### 3. バリアフリーの必要性を学ぶ

高齢者疑似体験セットは、自分が高齢者になったときの心身の状況を体験するものです。重りをつけた手足を無理やり動かしても意味がありません。「高齢者になった」という自己暗示をかけて臨むことが大切です。普段は何気なく歩いている段差などを、実際に疑似体験セットを装着して体験することで、その危険性を認識し、高齢者が日常生活を営む上でのバリアフリーの必要性を学ぶきっかけとします。



▲写真右【高齢者疑似体験セット】

◀写真左【高齢者疑似体験セット装着】



---

**福祉ボランティア活動実践校事業及び  
地域ぐるみボランティア活動推進事業活動集  
(市社協指定実践校・指定地区社協)  
～平成28年度～**

平成29年5月発行  
社会福祉法人 甲府市社会福祉協議会  
甲府市ボランティアセンター  
〒400-0858 山梨県甲府市相生2-17-1  
TEL：055-223-1061 FAX：055-231-6061  
E-MAIL：k-vc@kofu-syakyo.or.jp

---

[印刷]  
株式会社 峡南堂印刷所  
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-10-1  
TEL：055-235-2528

---

※この活動集は、赤い羽根共同募金配分金により作成しました。